

酒田市

避難場所や避難経路の確認を！

ハザードマップを活用して、避難経路や家族との集合場所、地域や家庭における洪水への備えについて、話し合いましょう

最上川洪水ハザードマップ

ハザードマップに関する
お問い合わせ先

酒田市総務部危機管理課
TEL.0234-26-5701



この地図は、最上川が想定し得る最大規模の大河（最上川流域2日間総雨量252mm）によって増水して、堤防の決壊や越水が発生した場合に予想される浸水区域と浸水深、避難所などを示した地図です。

河川が氾濫する恐れがある場合は、市から避難勧告や避難指示（緊急）が出されますので、指示に従い、すみやかに避難してください。大雨の時は、雨の降り方や気象情報に十分注意して、危険を感じたら早めに自主的な避難を心がけましょう。

なお、地図に示した浸水想定区域以外でも場合によつては浸水が発生する恐れがありますので、注意してください。

0 0.5 1 1.5 2 km

最上川河口

最上川

新井田川

日向川

庄内川

鈴川

赤川

高田川

出羽大橋

両羽橋

小牧川水門

昭和19年7月
破堤

日本海東北自動車道

三川町

鶴岡市

国道7号線

庄内町

松山地区上流

白ヶ沢

鈴川排水機場

白ヶ沢

水位観測所

東興野

庄内川

新井田川洪水ハザードマップ

この地図は、新井田川が想定し得る最大規模の大雨・新井田川流域日総雨量 509mm)によって増水して、堤防の決壊や越水が発生した場合に予想される浸水区域や浸水深、避難所などを示した地図です。

河川が氾濫する恐れがある場合は、市から避難勧告や避難指示(緊急)が出されますので、指示に従い、すみやかに避難してください。大雨の時は、雨の降り方や気象情報に十分注意して、危険を感じたら早めに自主的な避難を心がけましょう。

なお、地図に示した浸水想定区域以外でも場合によっては浸水が発生する恐れがありますので、注意してください。

0 0.5 1 1.5 2 km

■地図の見方

—浸水が想定される区域と浸水した場合の高さ—	
浸水深が5~10m 未満の区域	5.0m
浸水深が3~5m 未満の区域	3.0m
浸水深が0.5~3m 未満の区域	
浸水深が0.5m 未満の区域	0.5m

—地図上の記号—

- 洪水時指定緊急避難場所
- 要配慮者利用施設
- 病院
- 河川ライブカメラ
- 過去に破堤した箇所
- 市町村境界

—早期の立ち退き避難が必要な区域—

この区域にお住いの方は、市からの指示に従って速やかに家から立ち退き、避難所に避難してください。

■氾濫が3日以上続く、孤立する区域

■氾濫流で家が流される恐れのある区域

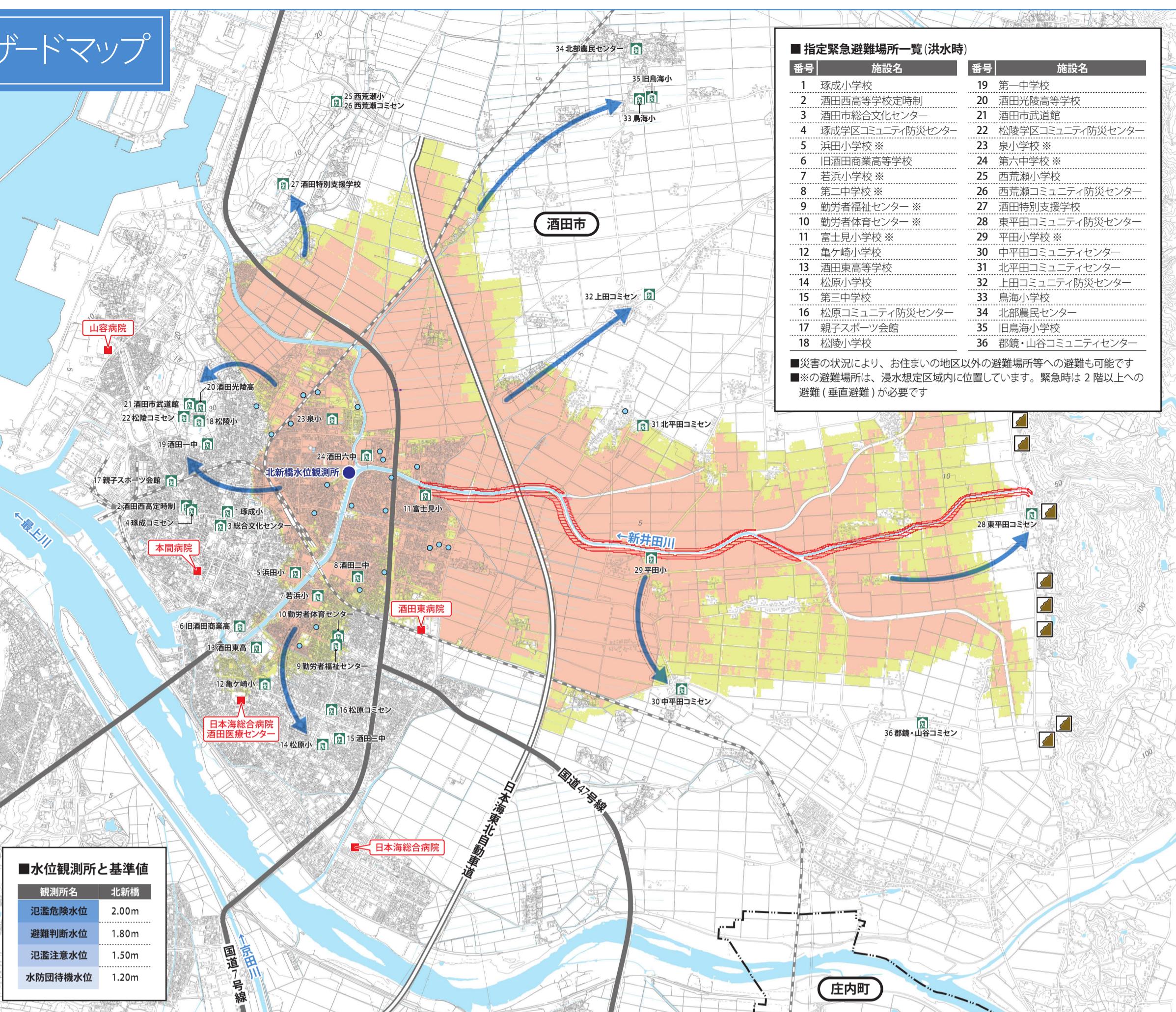
■河岸の侵食で家が流される恐れのある区域

—土砂災害危険区域—

このマークの箇所及び周辺は、大雨時にかけ崩れや土石流が発生する恐れがある土砂災害危険箇所です。避難の際は、この箇所の近くを通らないように気をつけましょう。

■かけ崩れが発生する危険性のある箇所

■土石流が発生する危険性のある箇所



赤川洪水ハザードマップ

この地図は、赤川が想定し得る最大規模の大河(赤川流域 12 時間総雨量 303mm)によって増水して、堤防の決壊や越水が発生した場合に予想される浸水区域や浸水深、避難所などを示した地図です。

河川が氾濫する恐れがある場合は、市から避難勧告や避難指示(緊急)が出されますので、指示に従い、すみやかに避難してください。大雨の時は、雨の降り方や気象情報に十分注意して、危険を感じたら早めに自主的な避難を心がけましょう。

なお、地図に示した浸水想定区域以外でも場合によっては浸水が発生する恐れがありますので、注意してください。

■水位観測所と基準値

観測所名	浜中
氾濫危険水位	4.20m
避難判断水位	4.00m
氾濫注意水位	3.00m
水防団待機水位	2.00m

0 0.5 1 1.5 2 km

■指定緊急避難場所一覧(洪水時)

番号	施設名
1	黒森小学校※
2	黒森コミュニティセンター
3	十坂小学校
4	第四中学校※
5	十坂コミュニティセンター
6	かんぽの宿、酒田
7	宮野浦小学校
8	宮野浦学区コミュニティ防災センター

■災害の状況により、お住まいの地区以外の避難場所等への避難も可能です
■※の避難場所は、浸水想定区域内に位置しています。緊急時は2階以上への避難(垂直避難)が必要です

災害発生時の備えと被害を抑えるための自衛策

地域の事情に応じた備蓄品・防災資機材

用意しておくべき備蓄品・防災資機材について話し合い、自主防災組織として用意するものと、世帯ごとに用意するものとを決めておきましょう。各世帯と地域での備蓄を合わせ、1週間分は確保しておきましょう。

●避難・情報収集・伝達用

携帯用ラジオ、サイレン付き拡声器、懐中電灯、予備電池、地図・模造紙・メモ帳、油性マジック・ボールペン、携帯用充電器、トイレットペーパー、ウェットティッシュ・簡易トイレ、飲料水、携帯食料(パン・缶詰など)、タオル・マスク・軍手



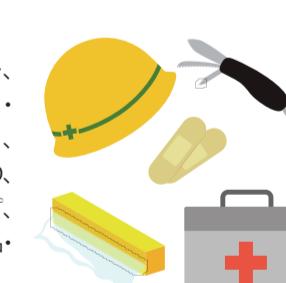
●水防用

救命ボート(2~4人乗り)、防水シート、ロープ、救命胴衣、シャベル・スコップ、土のう袋(砂)



●救出・救護用

パール・のこぎり・ハンマー・チェーンソー、はしご・ジャッキ、ロープ・ワインチ、ヘルメット・ゴーグル・ホイッスル、防煙・防塵マスク、皮手袋、多機能ナイフ、ポルクリッパー、AED、テント・担架・毛布・リヤカー、食品用ラップ、救急セット(消毒液・ガーゼ・包帯など)、医薬品・生理用品・紙おむつ・ごみ袋、ボリタンク



●給食給水用

清凉飲料水、非常食(乾パン・アルファ化米)、炊飯装置・鍋・やかん・おたま・ガスボンベ、カセットコンロ(予備ボンベ)、紙コップ・紙皿・割り箸・スプーン、給水タンク、濾水装置、着火用ライター



水害時の助け合い活動・避難の心得

●二人以上の避難を

避難するときは、2人以上で行動しましょう。

●隣近所への呼びかけ

避難時において隣近所に声をかける等、助け合いの意識を持って行動しましょう。

●子どもや高齢者の避難

子どもや高齢者、心身に障がいのある人、病気の人などは早めに避難させましょう。そのための情報伝達の方法等を記載して備えましょう。



●正確な情報収集と早めの避難を

テレビ、ラジオ等で最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。危険を感じたら早めの避難を!

●動きやすい格好で

持ち物はリュックで、手は自由に、長靴よりも歩き運動靴で避難しましょう。

被害を抑えるための自衛策

●家のまわりを点検・整備

梅雨や台風の時期になる前に、家の周りの排水溝が詰まっているかの確認や、風で吹き飛ばされる物を撤去しておきましょう。



●家庭でできる簡易水防

浸水深が小さいときは家庭にあるものを使って、水の侵入を減少させることができます。

- ①大きなゴミ袋やボリタンク等に水を入れ、水の侵入口となるところに並べる。
- ②プランターをつなげて水の侵入口となるところに並べたり、長めの板と土のうで臨時の止水板を作る。